

震災工作車・重機



- 総務省消防庁から広域災害支援の目的で配備された車です。

● 配備目的

テロ災害や大規模地震などの大規模特殊災害に備えるため全国に19台配備されました。

● 重機の任務

緊急消防援助隊の増強、大規模地震、豪雨災害等によるがれき、土砂崩れ家屋の倒壊等によって生じる車両進入不能地域での活動をおこないます。

● 重機の特長

小型無線機を使用して遠隔操作が可能です。操作距離は約100mです。ブームに取付けた筒先で放水も可能です。

震災工作車

この車の特長

シャシ	日野
シャシ型式	LDJ-GK8JUUA
長さ	11.52m
幅	2.49m
高さ	3.17m
乗車定員	3名
車の重さ	19.995トン
排気量	7680cc
配備年月日	平成25年3月



重機

この車の特長

メーカー	コマツ
型式	PC55MR-3
長さ	5.55m
幅	1.96m
高さ	2.55m
乗車定員	1名
車の重さ	4.92トン
排気量	2189cc
配備年月日	平成25年3月



荷台に重機を積載して災害現場に出動します。



クレーンが装備され、がれき等の除去ができます。



車両緊急停止スイッチ



消防専用仕様としてラジコン・搭載モードにかかわらず、本スイッチを操作するとエンジンが停止し車両を緊急停止させることができます。

油圧ブレーカ

油圧切断機

油圧旋回式フォーク



コンクリート、岩石の破壊

鉄骨の切断
コンクリートの破壊

家屋の解体
がれきの集積・積込

